

**業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項**

**簡素で効率的な運営体制の構築**

**1 簡素で効率的な運営体制の構築**

医療を取り巻く環境の変化に的確に対応でき、医療の質の向上と経営基盤の強化が図られる運営体制を構築すること。

中期目標	中期計画	年度計画
	1 簡素で効率的な運営体制の構築 簡素で効率的な運営体制を構築し、全職員が一丸となって、医療サービスの向上と経営改善に取り組む。また、法人設立時には県との間において職員を相互に派遣することにより人材を確保するが、おおむね10年以内を目指してプロバーア化を進め、派遣の解消を (1) 病院機構内における適切な権限配分 効率的で効果的な管理運営を図るために、本部と病院との適切な権限配分を行う。 (2) 業務の集約化 薬品や診療材料の一括契約など、事務部門の集約化を進める。	1 簡素で効率的な運営体制の構築  (1) 病院機構内における適切な権限配分 効率的で効果的な管理運営を図るために、本部と病院との適切な権限配分を行う。  (2) 業務の集約化 薬品や診療材料の一括契約など、両病院共通事務を本部に集約する。

業務実績及び法人の自己評価	評価委員会の評価				
<p><b>(30) 簡素で効率的な運営体制の構築</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価 A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・法人化に伴い創設した「病院会議」を通じ、院内の重要事項、課題等を病院全体の情報として共有化を図った。簡潔明瞭な会議運営により、幹部及び各部門の責任者(102名)が情報交換し、議論を交わすことにより、簡素で効率的な運営体制が構築された。</p> <p>会議名 病院会議      構成メンバー 病院長、事務局長以下各診療科長、主任看護師長、技師長、事務局各担当リーダーまで      定 員 内 容 102名 (出席率は98%)      中期計画の執行管理や課題の検討      経営分析や経営改善に向けた協議、研究発表等</p> <p>* 従前は定員38名で構成されていた主任医長会議(出席率36%)があつたが、情報伝達が不十分であった。</p> <p>・病院会議は当初、月2回の会議を開催していたが、種々の議論を行い、その後、月1回の定例会議とした。</p> <p>・本部と病院の事務分掌は、事務取扱規程等により明確にするとともに、4月から管理責任体制を明確にするため、診療科ごとに責任者として科長制度を創設した。</p> <p>・平成22年度から薬品については、市場原理に基づいた適正な価格での購入努力を行い、予め発注が予想される類似品目をグループ分けして入札を行い、北病院分と一括契約を行った。購入契約医療ガスについても、中央病院・北病院の契約を一本化し、診療材料については北病院の購入価格を中央病院と同価格にした。</p>	評価 A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている	<p><b>(30) 簡素で効率的な運営体制の構築</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価 A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・中期計画の実施状況が優れている</p>	評価 A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている
評価 A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている				
評価 A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている				

## 業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項

### 2 効率的な業務運営の実現

#### 中期目標

**2 効率的な業務運営の実現**  
病院機構が有する医療資源の有効活用や業務の見直しを行い、効率的な業務運営の実現を図ること。

中期計画	年度計画
<p><b>2 効率的な業務運営の実現</b></p> <p>(1) 弾力的な職員配置 医療ニーズの多様化・高度化、患者動向などを踏まえ、必要な職員を機動的に採用するとともに、法人内における彈力的な配置を進め、効果的、効率的な医療提供に努める。</p> <p>(2) 外部委託の推進 不斷の業務内容の見直しを進め、業務の外部委託を一層進める。</p>	<p><b>2 効率的な業務運営の実現</b></p> <p>(1) 弹力的な職員配置 医療ニーズの多様化・高度化、患者動向などを踏まえ、必要な職員を機動的に採用するとともに、法人内における弾力的な配置を進める。</p> <p>(2) 外部委託の推進 北病院の給食業務の委託化など、業務の外部委託を進める。</p>

業務実績及び法人の自己評価	評議委員会の評価						
<p><b>(31) 効率的な業務運営の実現</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・患者さんを”早くきれいに治す”を実践することにより、入院患者の平均在院日数が前年度比較1.9日減の14.0日となり、その結果、新規入院患者数が前年度比8.3%増となったにもかかわらず、病床在院患者数は減少し、これが医療の効率化の実態として経営改善に寄与した。</p> <p>・法人化に伴い、医師の点検業務や診療報酬請求事務部門を強化し、長年の懸案であった医療請求レセプトの月遅れ提出が解消した。</p>	評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である	<p><b>(31) 効率的な業務運営の実現</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table>	評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である					
評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である					

**業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項**

**3 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減**

**中期目標**

**3 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減**

良質な医療を安定的に提供できる経営基盤の強化を図るため、診療報酬改定への適切な対応や料金の定期的な見直しなど収入の確保に努めるとともに、費用対効果を検討する中で、費用の節減に努めること。

中期計画	年度計画
<p><b>3 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減</b></p> <p>(1) 診療報酬請求の事務の強化</p> <p>診療報酬事務職員の専門研修の実施やプロパー化等により、診療報酬部門の強化を図り、診療報酬改定に迅速かつ適切に対応することができる人員体制や院内の連携体制を構築するとともに、レセプト請求の迅速化及び減点防止を徹底するなど診療報酬請求事務の強化を図る。</p> <p>(2) 料金収入の見直し</p> <p>診療報酬基準以外の料金の定期的な見直しを行い、適正な料金の設定を図る。</p> <p>(3) 未収金対策</p> <p>患者負担金に係る未収金については、定期的な請求・督促をはじめ、未収金の発生を防止するとともに、回収業務の専門家の活用など、早期回収に努める。</p> <p>(4) 材料費の抑制</p> <p>後発医薬品の採用や院外処方の推進等により材料費の抑制を図る。</p> <p>(5) 多様な契約手法の活用</p> <p>複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を活用し、さらなる費用の節減に取り組む。</p>	<p><b>3 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減</b></p> <p>(1) 診療報酬請求の事務の強化</p> <p>各病院の医事担当の増員や、県立中央病院に診療報酬管理士を新たに配置し診療報酬部門の強化を図るとともに、診療報酬に関する院内研修を実施するなど、診療報酬請求事務の強化を図る。</p> <p>(2) 料金収入の見直し</p> <p>売店やレストラン等の賃借料を見直し、適正な料金の設定を図る。</p> <p>(3) 未収金対策</p> <p>患者負担金に係る未収金については、定期的な請求・督促をはじめ、未収金の発生を防止するとともに、回収業務の専門家の活用など、早期回収に努める。</p> <p>(4) 材料費の抑制</p> <p>契約方法や契約内容、価格交渉のあり方などの見直しを進め、購入費の抑制を図る。</p> <p>(5) 多様な契約手法の活用</p> <p>複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を活用し、さらなる費用の節減に取り組む。</p>

業務実績及び法人の自己評価		評価委員会の評価						
<p><b>(32) 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">評価</td> <td style="width: 10%;">A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>・平成22年度収入については、入院収益、外来収益で対年度計画比較14億1千万円の増となった。一方、支出については、総費用全体で6千万円の増に抑制することができた。これは、医業収益の増(13億円)と同時に、薬品の購入価格の適正化やジェネリック薬(造影剤、抗生素)の導入等、費用削減努力によるものである。</p> <p>・ことに平成22年度から薬品については、市場原理に基づいた適正な価格での購入努力を行い、予め発注が予想される類似品目をグループ分けして入札を行い、北病院分と一括契約を行った。購入契約医療ガスについても、中央病院・北病院の契約を一本化し、診療材料については北病院の購入価格を中央病院と同価格にした(前述 P21)。</p> <p>・4月から、中央病院の医事課に正規職員1名を増員し、診療情報管理士2名を採用(臨時職員)した。また、北病院の医事業務担当の正規職員1名を増員した。また、平成22年度から医師を対象にしたDPC導入に関わる研修会を開催した(年3回)。</p> <p>・4月から、レストラン、喫茶店、理髪店等は、従前の行政財産使用許可に代え、入札による定期賃貸借契約を締結した。また、自動販売機は、売上に比例した賃貸借契約を締結した。これにより雑収益が3千万円の増となった。</p> <p>・他県の県立病院の事例や県内他病院の状況を踏まえ、分べん介助料、新生児管理保育料を改定した。</p> <p>・未収患者に対しては、受診から1ヶ月後に納入通知書を送付し、入院患者は2ヶ月後に督促状を送付することにより、未収金の長期化抑制に努めている。また、翌々年度当初に再度督促通知を発布している。早期回収に努めるため、発生から1年以上の債権の回収を弁護士に委託した。</p>		評価	A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている	<p><b>(32) 経営基盤を強化する収入の確保、費用の節減</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">評価</td> <td style="width: 10%;">A</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td> </tr> </table> <p>新規入院患者の増加などによる順調な経営状況の中にあって、人事院勧告に準じた給与の引き下げや薬品購入方法の改善による薬品費の抑制など、経費の節減に努めたことを評価する。</p>	評価	A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている
評価	A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている						
評価	A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている						

## 業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項

### 4 事務部門の専門性の向上

#### 中期目標 4 事務部門の専門性の向上

診療報酬体系等の病院特有事務に精通した職員を育成、確保することにより、専門性の向上を図ること。

中期計画	年度計画
<p><b>4 事務部門の専門性の向上</b> 事務職員の専門性を高めるため、病院経営に関する知識・経験を有する民間等の人材を活用するとともに、医療事務に精通したプロバー職員の採用など、専門性をもつ経営管理部門の職員を計画的に育成する。</p>	<p><b>4 事務部門の専門性の向上</b> 事務職員の専門性を高めるため、民間の人材の活用や、事務職員のプロバー化に向け、検討を行う。</p>

業務実績及び法人の自己評価	評価委員会の評価						
<p><b>(33) 事務部門の専門性の向上</b></p> <table border="1"><tr><td>評価</td><td>B</td><td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td></tr></table> <p>・平成23年度から診療報酬担当職員の正規化を図るとともに、医師事務作業補助者5名(臨時)を採用することとした。 ・専門性が高い診療報酬の改定やDPCへの対応、経営分析に関する研修等に参加した。 ・紛争、交渉や訴訟等の法的手続きにおいては、迅速かつ適切な対応が要求されるため、高度な知識や経験をもった弁護士に委託することとした。</p>	評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である	<p><b>(33) 事務部門の専門性の向上</b></p> <table border="1"><tr><td>評価</td><td>B</td><td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td></tr></table> <p>&lt;特記事項&gt;</p>	評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である					
評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である					

## 業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項

### 5 経営参画意識を高める組織文化の醸成

#### 5 経営参画意識を高める組織文化の醸成

業務に携わる全ての者が、組織における価値観や中長期の経営の方向性を共有する中で、病院経営に対する責任感や使命感を持って積極的に業務改善に取り組む組織文化を醸成すること。

中期目標

中期計画	年度計画
<p><b>5 経営参画意識を高める組織文化の醸成</b></p> <p>(1) 経営改善の状況に応じたメリットシステムの導入 医療部門の財務状況を的確に把握するとともに、各部門の自発的な経営努力を促すため、経営改善の状況に応じてその成果を一部還元し、医療水準の向上等のために活用できるメリットシステムを導入する。</p> <p>(2) 経営関係情報の周知 経営関係情報について、わかりやすく職員に周知し、職員の経営参画意識を高める。</p> <p>(3) 職員提案の奨励 職員の病院経営に対する参画意識や目標達成に向けた意欲を高めるため、職員提案を奨励し、提案された内容について、真摯に検討する体制を整備する。</p>	<p><b>5 経営参画意識を高める組織文化の醸成</b></p> <p>(1) 経営改善の状況に応じたメリットシステムの導入 メリットシステムの導入に向けた検討を行う。</p> <p>(2) 経営関係情報の周知 経営関係情報について、職員ポータル等を活用し、わかりやすく職員に周知し、職員の経営参画意識を高める。</p> <p>(3) 職員提案の奨励 職員提案の方法や提案された内容を検討する体制を整備する。</p>

業務実績及び法人の自己評価		評価委員会の評価									
<p><b>(34) 経営参画意識を高める組織文化の醸成</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>A</td><td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td><td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td></tr> </table> <p>・病院全体の情報交換や意見交換、共通認識の醸成を目的とした病院会議を開催し、各科の入院、外来の稼働額を前年同期と比較図示化し、前年同月の稼働減額の科については、その要因を探り、対策を立てた。その結果、30科中25科において(法人化前は半数)、前年を上回り、経営改善につながった。また、この実績を102人の病院会議出席メンバーが知ることにより、経営参画意識が高まった。</p> <p>・中間決算予測(法人化4月～12月期)により、純利益が1億円を超えることが予測された(実際の通年決算は、3億1千万円の純利益)。そこで7対1看護体制の導入が経営改善につながったと判断し、看護師夜間手当を7,200円から10,600円(47.2%増)に改善した(メリットシステム導入)。</p> <p>・現行の職員提案制度を見直し、法人独自に職員提案の募集を開始した。職員提案審査委員会を設置し、2回の募集を行い、26名から43提案があった。うち、「看護師の夜間看護手当」の増額や外来カルテの院内搬送の廃止の提案を採用し、実行することになった。前者については、実手当増を実現し、また、後者については、現在ほぼ、紙外カルテの運び出しが終了した。</p>		評価	A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている	<p><b>(34) 経営参画意識を高める組織文化の醸成</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>A</td><td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td><td>当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている</td></tr> </table> <p>&lt;特記事項&gt;</p> <p>病院会議で入院・外来の稼働額を示し、要因や対策を議論することで職員の経営参画意識を高め、各診療科の経営改善に繋げたことや、看護師夜間手当の改善にメリットシステムを導入したことなど、積極的な取り組みを評価する。</p>		評価	A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている
評価	A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている								
評価	A	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている	当該事業年度における中期計画の実施状況が優れている								

**業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項**

**6 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備**

**中期目標**

**6 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備**  
業務に対する誇りや達成感を日々実感しながら働くことができる環境が作り出され、医療従事者が魅力を感じる病院づくりを行うこと。

中期計画	年度計画
<p><b>6 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備</b></p> <p>(1) 職員満足度調査の実施 働きやすい職場環境の実現に向け、各現場における職員の感想や意見をより的確に把握するため、職員満足度調査を毎年定期的に実施する。</p> <p>(2) 資格取得を含む研修の充実 病院職員の職務能力の高度・専門化を図るために、資格取得を含む研修制度を整備する。</p> <p>(3) 公平で客観的な人事評価システムの導入 職員の業績や能力を、給与に反映させるとともに、職員の人材育成及び人事管理に活用するための簡素で公平な人事評価制度を構築する。</p>	<p><b>6 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備</b></p> <p>(1) 職員満足度調査の実施 働きやすい職場環境の実現に向け、各現場における職員の感想や意見をより的確に把握するため、職員満足度調査を実施する。</p> <p>(2) 資格取得を含む研修の充実 病院職員の職務能力の高度・専門化を図るために、資格取得を含む研修制度を整備する。</p> <p>(3) 公平で客観的な人事評価システムの導入 職員の業績や能力を、給与に反映させるとともに、職員の人材育成及び人事管理に活用するための簡素で公平な人事評価制度を構築する。</p>

業務実績及び法人の自己評価		評価委員会の評価					
<p><b>(35) 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員満足度、生活と職の調和、あるいは広く人生観などを知るために、職員と理事長の意見交換会を実施した。一人平均1時間を行い、現在まで医師151名、看護師95名、技師67名、事務職員46名や臨時職員と意見を交換し、病院運営に資した。</li> <li>・看護師の満足度調査を実施した。各カテゴリー5段階評価を行い、平均3.6の満足度で概ね満足しているが、給料や勤務時間に対する不満もあった。</li> <li>・認定看護師の資格取得のため、2名を養成機関へ派遣している。今後は研修計画を策定する中で、資格取得を含む研修制度の創設が課題。</li> <li>・人事評価制度については、実施しなかった。</li> </ul>	評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である	<p><b>(35) 誇りや達成感をもって働くことができる環境の整備</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>&lt;特記事項&gt;</p>	評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である					
評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である					

業務運営の改善及び効率化並びに財務状況に関する事項

4. 財務状況

中期目標 業務運営の改善及び効率化などを進め、中期目標期間内の累計の経常収支を黒字とすること。

中期計画		年度計画	
「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」を着実に実施することにより、中期目標期間内の累計の経常収支を黒字とすること。			
1 予算(平成22年度～平成26年度)		1 予算(平成22年度)	
(単位:百万円)			
区分		区分	
収入	金額	収入	金額
営業収益	95,673	営業収益	18,404
医業収益	79,892	医業収益	15,456
運営費負担金	15,401	運営費負担金	2,872
その他営業収益	380	その他営業収益	76
営業外収益	2,447	営業外収益	508
運営費負担金	1,937	運営費負担金	406
その他営業外収益	510	その他営業外収益	102
資本収入	4,380	資本収入	1,196
運営費負担金	0	運営費負担金	0
長期借入金	4,130	長期借入金	946
その他資本収入	250	その他資本収入	250
その他の収入	0	その他の収入	0
計	102,500	計	20,108
支出		支出	
営業費用	80,965	営業費用	15,817
医業費用	79,398	医業費用	15,542
給与費	42,787	給与費	8,209
材料費	23,588	材料費	4,743
経費	12,768	経費	2,539
研究研修費	255	研究研修費	51
一般管理費	1,567	一般管理費	275
営業外費用	3,099	営業外費用	642
資本支出	15,457	資本支出	3,266
建設改良費	4,951	建設改良費	1,372
償還金	10,506	償還金	1,894
その他の支出	0	その他の支出	0
計	99,521	計	19,725
【人件費の見積り】 期間中総額44,199百万円を支出する。 なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。			
【運営費負担金のルール】 救急医療等の政策医療経費については、地方独立行政法人法第85条第1項の規定により算定された額とする。 長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金は、経常費助成のための運営費負担金とする。			

業務実績及び法人の自己評価		評価委員会の評価	
(36) 予算、収支計画及び資金計画、短期借入金の限度額		(36) 予算、収支計画及び資金計画、 短期借入金の限度額	
評価 S	当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている	評価 S	当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている
<特記事項>			
7対1看護体制の導入や新規入院患者の増加などから、医業収益が大幅に增加了した一方、給与改定による給与費の削減や薬品の契約方法の見直しなどから支出を抑制した結果、経常収支が大幅に改善され、14億円余りの黒字となったところであり、収支改善の努力と実績は、特段の評価に値するものである。			

中期計画		年度計画		業務実績及び法人の自己評価		評議会の評価	
2 収支計画（平成22年度～平成26年度） (単位：百万円)		2 収支計画（平成22年度） (単位：百万円)		2 収支報告 (単位：百万円)			
区分	金額	区分	金額	区分	金額		
収入の部	98,846	収入の部	19,144	収入の部	20,786		
営業収益	96,419	営業収益	18,640	営業収益	20,010		
医業収益	79,742	医業収益	15,426	医業収益	16,801		
運営費負担金収益	15,401	運営費負担金収益	2,872	運営費負担金収益	2,866		
資産見返負債戻入	896	資産見返負債戻入	266	資産見返負債戻入	254		
その他営業収益	380	その他営業収益	76	その他営業収益	89		
営業外収益	2,427	営業外収益	504	営業外収益	552		
運営費負担金収益	1,937	運営費負担金収益	406	運営費負担金収益	401		
その他営業外収益	490	その他営業外収益	98	その他営業外収益	151		
臨時利益	0	臨時利益	0	臨時利益	224		
支出の部	98,796	支出の部	19,131	支出の部	20,476		
営業費用	90,995	営業費用	17,945	営業費用	17,951		
医業費用	89,819	医業費用	17,719	医業費用	17,770		
給与費	42,412	給与費	8,195	給与費	7,848		
材料費	22,502	材料費	4,525	材料費	4,791		
経費	12,468	経費	2,478	経費	2,551		
減価償却費	12,192	減価償却費	2,472	減価償却費	2,531		
研究研修費	245	研究研修費	49	研究研修費	49		
一般管理費	1,176	一般管理費	226	一般管理費	181		
営業外費用	5,179	営業外費用	1,138	営業外費用	1,200		
臨時損失	2,622	臨時損失	48	臨時損失	1,325		
純利益	50	純利益	13	純利益	310		
目的積立金取崩額	0	目的積立金取崩額	0	目的積立金取崩額	0		
総利益	50	総利益	13	総利益	310		
3 資金計画（平成22年度～平成26年度） (単位：百万円)		3 資金計画（平成22年度） (単位：百万円)		3 資金収支 (単位：百万円)			
区分	金額	区分	金額	区分	金額		
資金収入	113,714	資金収入	28,379	資金収入	27,880		
業務活動による収入	101,791	業務活動による収入	19,640	業務活動による収入	18,892		
診療業務による収入	79,098	診療業務による収入	15,291	診療業務による収入	16,627		
運営費負担金による収入	17,338	運営費負担金による収入	3,278	運営費負担金による収入	2,049		
その他の業務活動による収入	5,355	その他の業務活動による収入	1,071	その他の業務活動による収入	216		
投資活動による収入	0	投資活動による収入	0	投資活動による収入	2,539		
運営費負担金による収入	0	運営費負担金による収入	0	運営費負担金による収入	0		
その他の投資活動による収入	0	その他の投資活動による収入	0	その他の投資活動による収入	2,539		
財務活動による収入	4,380	財務活動による収入	1,196	財務活動による収入	1,175		
長期借入金による収入	4,130	長期借入金による収入	946	長期借入金による収入	0		
その他の財務活動による収入	250	その他の財務活動による収入	250	その他の財務活動による収入	1,175		
前期中期目標期間からの繰越金	7,543	前事業年度からの繰越金	7,543	前事業年度からの繰越金	5,274		
資金支出	113,714	資金支出	28,379	資金支出	27,880		
業務活動による支出	87,762	業務活動による支出	17,328	業務活動による支出	16,373		
給与費支出	43,815	給与費支出	8,511	給与費支出	7,909		
材料費支出	23,592	材料費支出	4,743	材料費支出	5,110		
その他の業務活動による支出	20,355	その他の業務活動による支出	4,074	その他の業務活動による支出	3,354		
投資活動による支出	4,951	投資活動による支出	1,372	投資活動による支出	7,532		
固定資産の取得による支出	4,951	固定資産の取得による支出	1,372	固定資産の取得による支出	1,107		
その他の投資活動による支出	0	その他の投資活動による支出	0	その他の投資活動による支出	6,425		
財務活動による支出	10,506	財務活動による支出	1,894	財務活動による支出	1,894		
長期借入金の返済による支出	1,140	長期借入金の返済による支出	0	長期借入金の返済による支出	0		
移行前地方債償還債務の償還による支出	9,366	移行前地方債償還債務の償還による支出	1,894	移行前地方債償還債務の償還による支出	1,894		
その他の財務活動による支出	0	その他の財務活動による支出	0	その他の財務活動による支出	47		
次期中期目標期間への繰越金	10,495	翌事業年度への繰越金	7,785	翌事業年度への繰越金	2,034		
短期借入金の限度額							
1 限度額 1,000百万円				・短期借入は行っていない。			
2 想定される短期借入金の発生理由							
運営費負担金の交付時期の遅れ等による一時的な資金不足への対応							

## その他業務運営に関する重要事項

- 中期目標**
- 1 保健医療行政への協力  
県などが進める保健医療行政に積極的に協力すること。
  - 2 法令・社会規範の遵守  
病院機構が、県民に信頼され、県内医療機関の模範的役割を果たしていけるよう法令や社会規範等を遵守すること。
  - 3 積極的な情報公開  
運営の透明性の確保に努め、業務内容や業務運営の改善等の情報発信に積極的に取り組むこと。

中期計画	年度計画
<p><b>1 保健医療行政への協力</b> 県などが進める保健医療行政に積極的に協力する。</p>	<p><b>1 保健医療行政への協力</b> 県などが進める保健医療行政に積極的に協力する。</p>
<p><b>2 法令・社会規範の遵守</b> 県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規律の策定、倫理委員会によるチェック等を通じて、職員の行動規範と倫理を確立する。</p>	<p><b>2 法令・社会規範の遵守</b> 県立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規律の策定、倫理委員会によるチェック等を通じて、職員の行動規範と倫理を確立する。</p>

業務実績及び法人の自己評価		評議会の評議		
<p><b>(37) 保健医療行政への協力</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評議</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・がん診療拠点病院として、また、第三次救急医療を担う救命救急センター、県内の周産期医療の中核をなす総合周産期母子医療センター、難病医療拠点病院等として県の保健医療に係る重要施策に貢献している。</p> <p>・県が主催する各種委員会等へ職員を派遣している。            肝炎対策協議会            がん対策推進協議会            小児慢性特定疾患協議会            難病医療連絡協議会            不妊相談運営委員会            臨床研修病院等連携協議会            訪問看護推進協議会            ドクターへリ運用準備委員会            生活習慣病検診管理指導協議会            等</p>		評議	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
評議	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である		
<p><b>(38) 法令・社会規範の遵守</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評議</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>・病院内の倫理委員会で取り扱い周知を徹底し、職員全員一丸となり法令、社会規範の遵守に努めた。</p>		評議	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
評議	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である		
<特記事項>				

中期計画	年度計画	業務実績及び法人の自己評価	評価委員会の評価						
<p><b>3 積極的な情報公開</b> 運営の透明性の確保に努め、年度計画の策定時や評価委員会の評価を受けた後などに、ホームページを活用し、業務内容や業務改善等の情報発信に積極的に取り組む。</p>	<p><b>3 積極的な情報公開</b> 運営の透明性の確保に努め、年度計画の策定時や評価委員会の評価を受けた後などに、ホームページを活用し、業務内容や業務改善等の情報発信に積極的に取り組む</p>	<p><b>(39) 積極的な情報公開</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院機構、中央病院、北病院がそれぞれホームページを開設し、年度計画や理事会の議事録を公表するとともに、法人組織や診療案内、研修や公開講座の案内、採用情報等の業務内容を情報発信している。</li> <li>・各診療科の活動、診療実績、その治療成績を病院のホームページに掲載し、常に最新の情報をいち早く伝える努力をした。</li> <li>事例：「がん診療において最近の生存率の改善、例えば最難治がんの脳がんステージ4Bが従前2.5ヶ月であったものが、直近では10ヶ月延長した」等の内容</li> <li>・また、図式化された法人の収入等が県のホームページにも掲載され、県民の皆様に理解される努力を行った。</li> <li>・国立国会図書館に収納されている山梨県立中央病院年報の内容を改定し、学会発表、和文英文の論文発表や各種講演会での発表等の病院の詳細な活動を掲載した。</li> </ul>	評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である	<p><b>(39) 積極的な情報公開</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である</td> </tr> </table> <p>&lt;特記事項&gt;</p>	評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である
評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である							
評価	B	当該事業年度における中期計画の実施状況が順調である							
<p><b>4 移行前の退職給付引当金に関する事項</b> 移行前の退職給付引当金の必要額5,969百万円については、移行時に3,579百万円を計上し、残りの額2,390百万円は、中期目標期間内に全額を計上する。</p>	<p><b>4 移行前の退職給付引当金に関する事項</b> 移行前の退職給付引当金必要額の残額23億9千円のうち、1千万円を計上する。</p>	<p><b>(40) 移行前の退職給付引当金に関する事項</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>S</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営状況が好転し、5年間で18億円(移行前は23億円)を積み立てる退職給付引当金のうち、平成22年度の積立額を当初予定していた引当額を1千万円から13億円(引当予定額の72.2%)に引き上げることが可能となった。</li> </ul>	評価	S	当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている。	<p><b>(40) 移行前の退職給付引当金に関する事項</b></p> <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>S</td> <td>当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている。</td> </tr> </table> <p>&lt;特記事項&gt;</p> <p>経常収支が大幅に改善したことにより、今年度の引当予定額を大幅に上回る13億円を計上し、中期計画期間内の引当残額を5億円としたことは、法人の経営基盤の強化に繋がるものである。</p>	評価	S	当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている。
評価	S	当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている。							
評価	S	当該事業年度における中期計画の実施状況が特に優れている。							

中期計画							
5 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項							
(1) 施設及び設備に関する計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th><th>総額</th><th>国庫補助金、長期借入金等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td><td>4,723 百万</td><td></td></tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	総額	国庫補助金、長期借入金等	病院施設、医療機器等整備	4,723 百万	
施設及び設備の内容	総額	国庫補助金、長期借入金等					
病院施設、医療機器等整備	4,723 百万						

年度計画							
5 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項							
(1) 施設及び設備に関する計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th><th>総額</th><th>国庫補助金、長期借入金等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td><td>1,325 百万</td><td></td></tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	総額	国庫補助金、長期借入金等	病院施設、医療機器等整備	1,325 百万	
施設及び設備の内容	総額	国庫補助金、長期借入金等					
病院施設、医療機器等整備	1,325 百万						

- (2) 人事に関する計画  
政策医療の確実な実施や質の高い医療の提供に向け、医療従事者の確保など、適切な人事管理を行う。
- (3) 積立金の処分に関する計画  
なし
- (4) その他法人の業務運営に関し必要な事項  
なし

業務実績及び法人の自己評価	
(41) 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項	
評価	B 業務実績が、中期計画実現のための目標を概ね達成している。

・MRIや人工心肺装置等の更新や医療観察法病棟、研修医宿舎の整備等を行った。北病院のオーダリングシステム導入については、精神科病院に適したシステム構築について、検討している。

・政策医療を着実に実施するため、必要な人員を確保できるよう採用試験の実施回数を増やした。  
看護師 H22 3回 → H23 4回  
医療技術者等 H22 2回 → H23 3回

H23・4採用予定数	H22・4採用数
看護師 62名	看護師 79名
薬剤師 3名	薬剤師 2名
臨床検査技師 1名	臨床検査技師 3名
臨床工学技士 1名	臨床工学技士 2名
作業療法士 1名	作業療法士 1名
精神保健福祉士 2名	視能訓練士 2名
技能員 1名	理学療法士 1名
	放射線技師 1名

### 評価委員会の評価

(41) 山梨県地方独立行政法人の業務運営並びに財務及び会計に関する規則第5条で定める事項	業務実績が、中期計画実現のための目標を概ね達成している。
---	------------------------------

<特記事項>